

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課香川公民館	作成責任者
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	鈴木 朗

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
1 人	1 人	1 人	3 人	4 人	6.24 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
118 時間	9.8 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
社会教育事業・イベントの参加者数	48,287人	50,005人	48,282人	42,918人	49,636人
文化財の指定件数	43件	49件			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	家庭教育・幼児期の教育の支援
2	地域の教育力の向上
3	効果的な社会教育の推進
4	地域の学習拠点としての公民館の充実
5	文化財の保護・活用
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績が

B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める

E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない

なかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計 区分	H29予算(円) H29決算(円)	H30予算(円) H30決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生 (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値 (下段はH29実績)	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1	公民館利用者活動 支援事業(公民館)	4	1.93	一般	8,324,000 8,238,240	8,268,000 8,170,329	利用者の意見を幅広く聴きながら、安全で利用しやすい 施設運営を行うことができ、利用件数の増加が図られた。	利用件数(年間)	3,500件	3,419件 (3,312件)	S	変動 なし	●	
2	社会的要請課題を テーマとした事業(公 民館)	3	0.53	一般	285,000 263,100	290,000 230,300	環境、福祉、少子・高齢化、情報化等の社会的要請課題 をテーマとした事業を展開し、市民の学習活動の活性化 に寄与した。	事業数	15事業	19事業 859人 (18事業 573人)	S	変動 なし		
3	子ども事業(公民館)	2	0.53	一般	334,000 301,000	337,000 330,000	ボランティア団体等と連携を図り、子どもや親子を対象に 体験型の学習を実施することで、地域でのふれあいや仲 間作りを促進し、子ども達の居場所づくりの創出に寄与し た。	事業数	11事業	14事業 954人 (12事業 835人)	S	変動 なし		
4	家庭教育支援関連 事業(公民館)	1	0.35	一般	274,000 227,400	147,000 140,400	核家族化が進展する中で、地域の関係団体等と連携し、 事業を実施することで、子育ての悩みや不安を持つ保護 者が気軽に参加できる「憩いの場」の創出を図ることがで きた。	事業数	6事業	6事業 380人 (6事業 345人)	S	変動 なし		

[illegible]

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

<5公民館の取り組みと成果>

「春の市民まつり」や「しろやまフェスタ」開催時に「公民館ブース」を設置するとともに、11月にイオン茅ヶ崎中央店にて、公民館活動を周知する展示や、主催事業をワークショップ形式で実施する「公民館フェスタ」を開催しました。また、「市民便利帳ちがさき生活ガイド」に加え「茅ヶ崎市高齢者ガイド」にも公民館ページを新たに設けることで、多世代へ公民館のPRに努めました。さらに、ホノルルウィーク展、環境展、食育展等の館内展示や、高齢福祉介護課との共催事業(フレイルチェック、わたしの覚え書き書き方講座等)や健康増進課(乳幼児健康相談)の実施など、他課との連携事業も行い、一定の成果をあげたと考えます。また、インターンシップ生を受け入れ、公民館事業に携わってもらいながら、若者の視点から、若い世代の方々に公民館を利用してもらうために必要なこと公民館の利用やPR手法などについて考えてもらうきっかけづくりとしました。引き続き、他課との連携や公民館の対外的なPRを引き続き行っていきたいと考えています。

<香川公民館の総括評価>

香川公民館の第4次実施事業の事務事業数は、「災害応急対策活動」「市内共通事務」を除き12事業あり、その内政策的事業9事業ある。政策的事業の評価は、全ての事業が「S」であり、総合的に事業の成果を出すことができた。なお、公民館利用者活動支援事業は、目標値に僅かに届かなかったものの、目標値の80%を達成していることを考慮しS評価とした。公民館での各種事業数は目標値を上回り、また各種事業の参加者数も1事業を除き、前年度より増加傾向にあった。全体的に参加者が突出して増加したのではなく、特に前年度からの継続して実施した殆どの事業について、参加者が増えており、事業周知の効果とともに以前の参加者の満足度が高く、次年度事業への期待感を持って参加した市民も多かったのではないかと考える。今後も、地域の社会教育の拠点施設として、利用団体や来館者等の意見を聞きながらニーズを的確に把握し、地域住民、小中学校、他関係団体と連携し公民館活動の充実に努め、地域コミュニティ向上を推進していきたい。

また、職員の時間外勤務は、総時間118時間、一人当たりの月平均9.8時間であり、前年度と比較して総時間は、28時間増加し一人当たりの月平均は2.3時間増加しているが、少ない職員体制のなかで事務の効率化や職員の協力体制を図り時間外削減に努めライフワークバランスを図っていきたい。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
1	公民館利用者活動支援事業	5館で契約する事務の契約手法等を精査し、経費削減等について引き続き検討する。
6	学習成果の還元事業	公民館まつりの業務内容について見直しを図り、経費の削減を図る。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	個々の担当業務の進捗状況等を確認する中で、全事業の見直しを検討した。その結果、第4次実施計画作成の際に適切に事業の統合等を図ったことから、現時点での事業の休・廃止は困難である。しかしながら、引き続き5館連携して改善を行うことで効率的な事業運営を図っていきたい。
-	-	-

6 働かたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果

- ・公民館で共通する業務の契約並びに期間等の見直しを行い、経費削減と契約等に係る職員の事務の効率化を図った。(清掃業務委託及び警備委託の長期継続契約化、複写機賃貸借契約の統合)
- ・時間外勤務については、昨年度と比較すると時間外勤務は増加傾向にあるが、引き続き個々の業務の進捗状況の把握・共有に努めることで、効率的な業務遂行ができる職場環境の確立に努めたい。
- ・限られた職員体制の中での交代勤務のため、依然として年次休暇取得状況は低い。そのため事務分担等の見直しを実施し、業務効率の向上を図る中で、引き続き年次休暇取得率の向上に努めたい。